

地域医療連携だより

2023年
1月号
第27号



2023年元旦 初日の出 吉野川河口にて
撮影 和田 大助

Topics

- 新年の御挨拶
- 糖尿病チーム
- 栄養科 季節の健康レシピ
- 地域医療・患者支援センターからのご案内
 - ・第75回地域医療連携セミナー開催のご案内
 - ・泌尿器科 光力学診断（PDD）が施術可能となりました

新年の御挨拶

新年あけましておめでとうございます。旧年中はいろいろとお世話になり誠にありがとうございました。

昨年は国内外で様々な大きなできごとがありましたが、地域医療におきましても新型コロナウイルス感染症の第6波から始まり、第7波の急増といった難しい状況に直面しました。夏頃は香川県内の救急医療も一時期は逼迫したことがありました。当院でも感染対策に十分に取り組んでまいりましたが、第8波の増加に伴い一部診療を縮小することがありました。地域の医療機関の皆様にご不便をおかけしたことが少なからずあったと思いますが、ご理解とご支援をいただきましたことに改めてお礼申し上げます。



高松市立みんなの病院は平成30年9月に当地に移転、開院しましたが、香川県より地域医療支援病院としての承認を受けて同じく5年目となります。地域医療支援病院の具体的な役割には、紹介率・逆紹介率を高い水準で維持することはもとより、高度な医療機器の共同利用、地域の医療従事者の向上のための研修の実施などがあげられています。おかげさまで多くの患者さんをご紹介いただきまして、各医療機関様と密接な連携体制を構築していただいているものと考えております。RI、CT、MRI、PET-CTの共同利用も順調に伸ばしていただいている状況です。10床の開放型病床につきましても継続的に運用を進めておりますので、ぜひご利用いただければ幸いに存じます。また、昨年は9回にわたり地域医療連携セミナー、地域医療カンファレンスを開催して計10診療科より最新の知見をお届けさせていただきました。今年も日々のご診療のお役に立つことができる情報を提供してまいりたいと存じます。

卯年は飛躍や向上の年と言われています。コロナ感染症からの回復の兆しも見え始める中、新たな年が皆様にとりまして素晴らしい1年になりますことを祈念しますとともに、地域医療の安定、発展を通じて地域の方々が安心してご活躍いただける1年になりますことを願っております。当院も職員が一丸となって飛躍できるよう努めてまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

糖尿病チーム

糖尿病はインスリンの作用不足で高血糖が継続し、身体に様々な悪影響を及ぼす疾患です。糖尿病の治療の中心となるインスリンが発見され100年以上経過し、近年様々な糖尿病の治療薬が使用できるようになっています。しかし、わが国において糖尿病のある人は増加傾向であり、香川県でも同様に増加傾向です。また、残念なことに香川県の糖尿病死亡率は近年全国上位が続いています。このような状況に対して少しでも役立てるように当院では多職種で連携する糖尿病チームで活動を行っています。

当院での糖尿病チームの活動について

当院での糖尿病チームは内科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、理学・作業療法士などで構成されており、糖尿病専門医(非常勤・外来業務中心)と連携して活動をしています。主な活動としては、外来中心の栄養指導・服薬指導・療養指導・フットケア、入院患者を対象とした糖尿病チームラウンド、院内職員を対象とした研修会・啓蒙活動などです。



栄養指導・服薬指導・療養指導 ・フットケア

当院では管理栄養士が主体の栄養指導、薬剤師が主体の服薬指導、看護師が主体の療養指導・フットケアを行っております。いずれも糖尿病の治療を行っていく上で重要であり、外来担当医と情報共有しながらよりよい治療を目指して活動しています。



糖尿病チームラウンド

当院入院中の患者さんを対象に糖尿病治療に対する不安や疑問の解消、日常生活における注意事項の説明などを行っております。特に高齢者に多い無自覚性低血糖への注意喚起や、シックデイ時の対応などに重点をおいています。



研修会・啓蒙活動

院内職員を対象に糖尿病関連の研修会を行っています。糖尿病そのものだけでなく、糖尿病の合併症、新しい血糖モニタリング機器・新薬などについて情報共有を行っています。また、近年のテーマとなっているスティグマ(偏見や差別)などにも対応を行っています。

(文責 宮高 紘輔)



院内研修の様子

地域住民を対象とした『やさしく学べる健康講座』

大変好評でした！



栄養科監修

季節の健康レシピ

【テーマ】

寒い冬を元気に過ごす



風邪やインフルエンザ、新型コロナウイルスなどの感染症対策が重要な季節。免疫増強するための食事が気になるころですが、残念ながら特定の食品やサプリメントにより感染を抑えることはできません。免疫システムが正常に機能するためには、多くの栄養素と関連物質が関与しています。また痩せでも肥満でも感染リスクは高くなり、低栄養や過剰栄養などの栄養不良は、ウイルス感染のリスクを高め、感染した場合は回復を遅らせる危険性があります。特に高齢者の低栄養はフレイルの原因にもなり、さらに活動量の低下が加わると筋力の低下を引き起こすことに繋がり、悪循環に陥るかもしれません。

感染予防のためには、適正な体重を維持(エネルギー、たんぱく質の適正摂取)し、バランスの良い(ビタミン、ミネラル、食物繊維、乳酸菌、 ω 3系脂肪酸などの摂取)食事と適度な運動と良質な睡眠という健康のための原則が、免疫能の維持・増強につながるのです。

今回は、この時期にぴったりの温かい鍋料理、

シーズィータウ

『獅子頭』を紹介します。もともとは獅子の頭くらいある大きな肉団子を煮込んだ中国の料理です。簡単に作れ、肉団子は柔らかいので、ご高齢の方にも食べやすく、また一人暮らしの方や、受験生の夜食にもおすすめです。ごま油や薄切りの生姜で香りをプラスしてもよし、キムチやザーサイで味変も楽しめます。野菜がたっぷり入っていますので、熱いスープごとごはんにかけて雑炊風にしてもいいですね。

材料

シーズィータウ

獅子頭

(2人分)

豚ひき肉	250g	干しいたけ	5枚
卵	1/2個	春雨	25g
片栗粉	大さじ1	白菜	3枚
しょうゆ	大さじ1/2	長ネギ	1/2本
塩、こしょう	少々	金時ニンジン	50g
～お好みで～		油	大さじ1
しょうが、ごま油、キムチ、		鶏がらスープ	2.5カップ
ザーサイなど		しょうゆ	大さじ1

【作り方】

1. 清潔なビニール袋に豚ひき肉とAの材料を入れてよく練る。
2. 干しいたけと春雨は水で戻し、白菜、長ネギ、金時人参は食べやすい大きさに切る。
3. 厚手の鍋に油を熱し、2の春雨以外の材料を炒め、油が回ったところでスープ、干しいたけの戻し汁を加える。煮立ったら、1を丸めながら落とし入れていく。
4. 肉団子に火が通ったら、しょうゆ、酒、塩で味を調え、春雨を加えてひと煮たちさせる。



ワンポイント

鶏がらスープはお好みの市販のスープの素で大丈夫。使用するものにより塩分を調整してください。



地域医療・患者支援センターからのご案内



第75回地域医療連携セミナー

日時 令和5年2月22日(水) 19時～

演題 「心不全、どう見つける？
どう治す？どう防ぐ？」

講師 循環器内科

医長 藤原 美佳

徳島大学病院循環器内科特任教授

山田 博胤



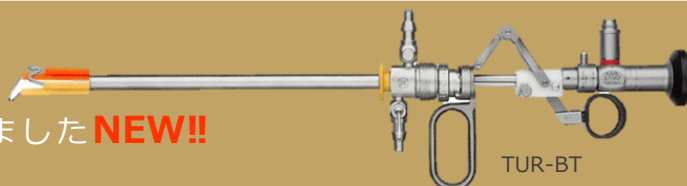
今年度最後のセミナーとなります。
ぜひ、ご参加ください。
来年度のセミナーも、ただいま計画中。お楽しみに・・・

お申込みはこちらから→



泌尿器科

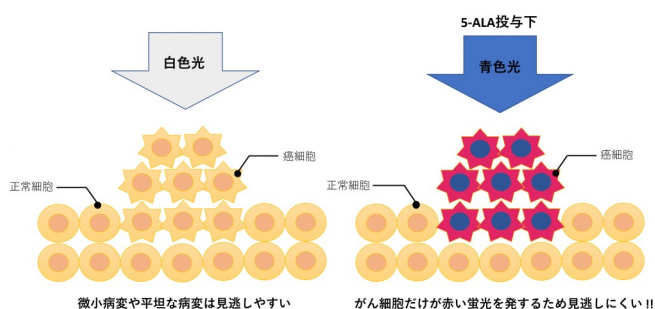
■ 光力学診断(PDD)が施術可能になりました **NEW!!**



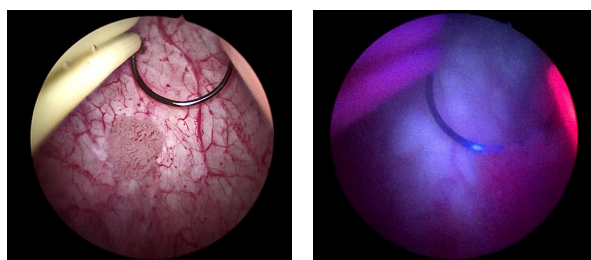
筋層非浸潤性膀胱がんはTUR-BTでの治癒が期待できる状態で、その生命予後は良好ですが、肉眼的に認識困難な膀胱悪性腫瘍による再発率が高いことが問題になっています。

そこで5アミノレブリン酸(2017年から保険適用)を投与して青色光を当て、がん細胞だけを赤く光らせて認識しやすくする光線力学診断(PDD)を導入しました。当科ではPDDとTUR-BTを組み合わせることで手術の質の向上を目指しています。

●がんの光力学診断(PDD)のイメージ



●術中画像



▼対象患者さんをご紹介します

尿潜血陽性

顕微鏡的血尿

肉眼的血尿

PSA高値、腎腫瘍、腎嚢胞

といった患者さんをお願いします。

患者さんをご紹介いただく際に、地域医療・患者支援センターへ事前にFAX予約をお願いいたします。

FAX予約を



受付時間

平日(月～金) 8時30分～18時00分

土曜日 9時30分～13時00分

※土曜日はFAX予約受付のみ

電話

(087)813-7171(代表) / (087)813-6699(紹介予約専用)

FAX

(087)813-6799(直通)

0120-834-224(フリーダイヤル 060)

※フリーダイヤルは県内固定電話のみ対応しております。